



ちゅうごくしこく

第47号
令和2年3月
発行



日米交流書き初め会 The First Writing of the Year in 和木町



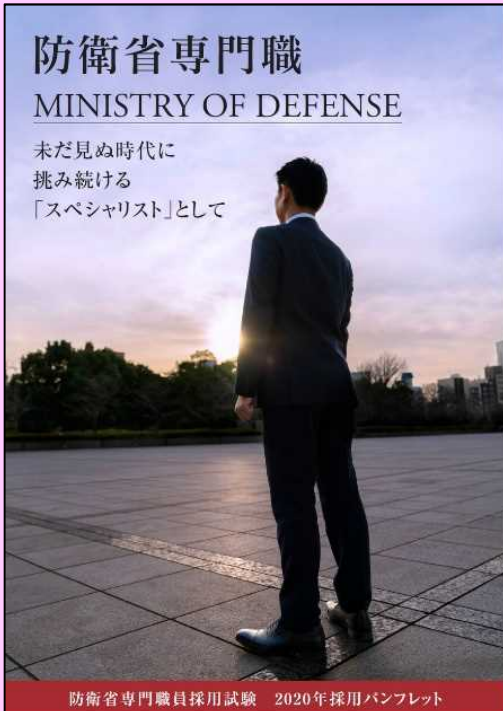
IWAKUNI日米交流合同コンサート



防衛省専門職

MINISTRY OF DEFENSE

未だ見ぬ時代に
挑み続ける
「スペシャリスト」として



防衛省専門職員採用試験 2020年採用パンフレット

詳しくは防衛省ホームページ(QRコード)でご覧頂けます。 →

目次

- ◆ 日米交流事業「日米交流書き初め会 The First Writing of the Year in 和木町」開催
- ◆ 日米交流事業「IWAKUNI日米交流合同コンサート」開催
- ◆ 中国四国防衛局施設整備調査チームによる被害状況調査訓練
- ◆ 第6回艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)整備協議会開催
- ◆ 第72回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催
- ◆ 平成29年計画音響測定艦命名・進水式 艦名「あき」
- ◆ 海上自衛隊呉地方総監 酒井 良 海将 御挨拶
- ◆ 人事異動のご挨拶(令和2年1月31日付)
- ◆ 職員の独り言
- ◆ 2020年防衛省専門職職員採用試験についての御案内



編集・発行 中国四国防衛局

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30

Tel 082-223-7109



日米交流事業 「日米交流書き初め会 The First Writing of the Year in 和木町」開催

令和2年1月11日、山口県和木町立和木小学校において、今回で3回目となる日米交流事業「日米交流書き初め会 The First Writing of the Year in 和木町」を中国四国防衛局主催により開催しました。

当日は、和木町米本町長、米海兵隊岩国航空基地副司令官のハリス中佐をお迎えし、和木町内の小・中学生と米海兵隊岩国航空基地ボーイスカウト・ガールスカウトに所属する児童約45名が参加しました。

オープニングでは、広島県立大竹高校書道部3名による書道パフォーマンスがあり、子どもたちや保護者の方は大きな筆を操る高校生の姿に魅入っていました。その後、子供達は日米混合のグループに別れ、自分が書きたい文字のお手本を参考にしたり、大竹高校書道部による指導を受けながら、「平和」、「ともだち」、「絆」、「ゆめ」などの文字を思い思いに書いていました。

書き初め会の後は、日本のお正月の遊びである凧揚げや羽子板、けん玉等を体験し、日米の交流を深めました。



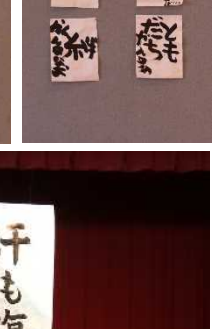
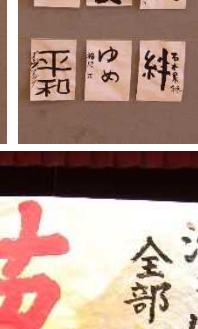
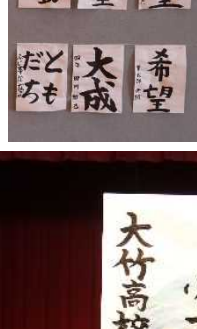
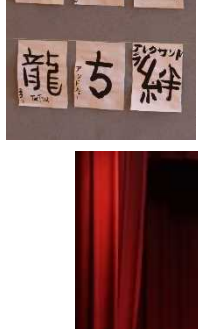
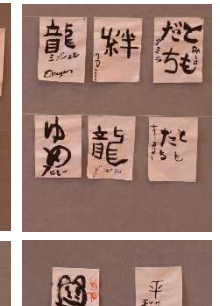
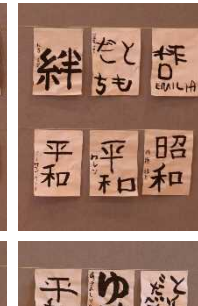
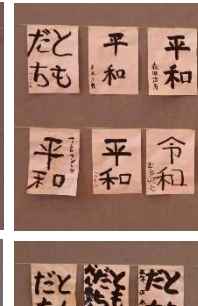
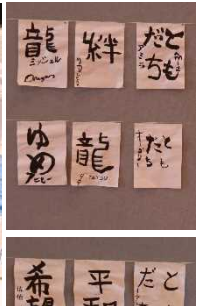
森田局長



米本町長



ハリス中佐





日米交流事業「IWAKUNI日米交流合同コンサート」開催

令和2年2月8日、山口県岩国市の岩国市民文化会館において、中国四国防衛局主催「IWAKUNI日米交流合同コンサート」を開催しました。

このコンサートは、米海兵隊岩国航空基地周辺の住民の方々と基地関係者の相互理解を深めるため開催しており、今回で10回目の節目を迎えることができました。

本年は、岩国市立由西小学校(神楽)、岩国市立由宇中学校(合奏)、周防大島町立明新小学校(合唱)、和木町立和木中学校(合奏)、大竹市立大竹中学校(合奏)、米海兵隊岩国航空基地M.C. パリー・ハイスクール(合奏、合唱)、イワクニ・ミドルスクール(合奏、合唱)及びイワクニ・エレメンタリースクール(合唱)の生徒ら約200名が参加し、各校がこの日のために練習してきた成果を披露し、今回、初めて麻里布太鼓の団体にも参加していただきました。

コンサートの最後を飾ったのは、各校参加者全員による「アラジン・メドレー」合奏、合唱で、会場を大いに盛り上げ、来場者からは日米の生徒らの素晴らしい演奏に惜しみない拍手が贈られました。

中国四国防衛局では、今後も米海兵隊岩国航空基地の周辺地域の方々と米軍人・軍属及びその家族との相互理解を図ることを目的として、引き続き日米交流事業を実施してまいります。





中国四国防衛局施設整備調査チームによる被害状況調査訓練

中国四国防衛局は、令和元年12月2日、呉市において震度6弱の地震が発生したと想定し、施設整備調査チームによる海上自衛隊呉地区の艦艇施設、医療施設、ユーティリティ施設及び通信施設（総監部地区）の被害状況を調査する訓練を行いました。

当局では、万が一地震、大雨その他災害等により被災した自衛隊施設について技術的支援等を迅速かつ的確に実施し、被害を受けた施設の早期復旧を図るため、事前に施設整備調査チームを編成しています。今回の訓練は、現地に派遣した調査班を建築、土木、電気、機械、通信の各班に分け、建物の被害状況や棧橋の状況、燃料施設、電気・通信系統などの点検等による調査訓練を実施し、各施設の点検等の結果、問題ないことを確認しました。

災害はないことを祈りますが、万一のときに自衛隊の活動基盤を確保するため、常に迅速に対応できるように、定期的な訓練を実施し練度向上に努めてまいります。



柱の傾斜確認



タイル剥離状況確認



棧橋段差確認



電気設備の健全性確認



ケーブル状況チェック



施設整備調査チーム



燃料漏れチェック

第6回 艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト (仮称) 整備協議会開催



○試験棟1には、水中無人機を試験するための大型タンクや水中無人機の運動を模擬した信号等を作り出すことができるシミュレーション装置等を整備します。

令和3年度運用開始イメージ図



試験棟1 施工状況

整備協議会の様子

政府の「まち・ひと・しごと創生本部」の政府関係機関移転の一環として、岩国市通津沖工業団地内で整備を進めている水中無人機等の試験評価施設「防衛装備庁艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト（仮称）」について、令和2年2月21日、山口県、岩国市及び防衛省（防衛装備庁、当局）による第6回整備協議会が岩国市役所で開催されました。

同協議会では、同試験評価施設の整備、地元の高等教育機関や研究機関等との研究協力及び関連企業の誘致などについて、山口県、岩国市及び防衛装備庁から検討と取り組みの状況について説明があり、当局からは、試験棟1など関係工事の発注や進捗の状況について説明しました。

本工事については、令和2年2月末現在、試験棟1の基礎の躯体工事と大型タンクの整備を同時に進めている状況であり、令和3年度の同施設の運用開始に向け、環境保全に努めながら工事を進めてまいります。

第72回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催



令和元年11月15日、広島市内のホテルにおいて、第72回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会を開催しました。

今回の委員会では、令和元年5月から8月までのアマモ類の分布状況等のモニタリング調査結果が報告され、委員会での承認を得るとともに、今後の調査方針等が示されました。



藻場・干潟回復調査研究委員会の概要は、右のQRコードからご覧いただけます。⇒





平成29年度計画音響測定艦命名・進水式 艦名「あき」

前日の雨も上がり穏やかな冬晴れの中、令和2年1月15日、岡山県玉野市の三井E&S造船株式会社玉野艦船工場において、中国四国防衛局玉野防衛事務所が検査・監督を担当する「平成29年度計画音響測定艦」の命名・進水式が酒井呉地方総監、出口海上幕僚副長、武田防衛装備庁長官、森田中国四国防衛局長ほか関係者及び一般の見学者約1,000人が参列するなか盛大に執り行われました。

命名式

命名式では海上自衛隊呉音楽隊が「君が代」を演奏したのち、酒井総監が命名書を読み上げ、計画音響測定艦は「あき」と命名されました。



引き続き、艦船工場長が支綱(しこう)切断台に斧をセットし、工場長の合図で酒井総監が鎚を斧に向けて振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ、呉音楽隊の奏でる軍艦マーチの中、「あき」はゆっくりと進水しました。

進水式



「ひびき」型音響測定艦は灘の名前が付けられており、「あき」は3番艦で、瀬戸内海の安芸灘に由来しています。令和3年3月頃就役予定となっており、玉野防衛事務所では就役に向けて、引き続き監督・検査に万全を期して参ります。

写真提供:海幕広報室



海上自衛隊 呉地方総監 ^{さかい}酒井 ^{りょう}良 海将 御挨拶



令和元年12月20日付で、海上自衛隊呉地方総監を拝命した酒井です。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

明治22年に海軍呉鎮守府が開庁してから130年という歴史のある呉の地において、呉地方総監として勤務することは、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。また、皆様には、平素から自衛隊の活動に対して御理解、御協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。

部隊は「精強・即応・持続」を合言葉に、日々、不測事態への即応体制を維持しつつ、教育訓練、各種業務を行っています。特に、近畿から四国、九州までの、広く太平洋を含む地域の警戒監視や災害対応を担う責任者として、国民の皆様が安心して生活できるよう、より一層任務に邁進する所存でありますので、皆様におかれましては、今後とも引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



海上自衛隊地方総監部HPにはこちらのQRコードでご覧いただけます。
↓



人事異動のご挨拶(令和2年1月31日付)



企画部長 ^{なべた}鍋田 ^{かつみ}克己

令和2年1月31日付けで、企画部長を拝命しました鍋田克己と申します。中国四国防衛局の勤務は初めてとなります。前職は防衛本省での勤務でしたが、これまで約26年間の防衛省ほかの勤務で、地方勤務は、東北局、北関東局、南関東局、沖縄局の勤務経験があり、5カ所目の地方局勤務となります。

出身は暑い街として有名な埼玉県熊谷市で、平成30年7月に記録した摂氏41.1度は、国内の観測史上最高気温です。一方、ここ中国四国地方は気候が温暖で、過ごし易いものと期待しています。

中国四国地方9県に及ぶ管轄区域には、多くの自衛隊及び在日米軍施設が所在しており、これらに起因する地元の御負担の軽減・除去、そして御理解に向けて、努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



職員の独り言

私は、平成30年度に新規採用者として総務部総務課へ配属となり、もうすぐ2年が経とうとしています。

主な業務としては、文書の廃棄・移管等行政文書管理のとりまとめを担当しており、当該業務は、各課に依頼を行い、作業を行ってもらわなければ完了できず、膨大な作業を伴う場合は、その詳細や意義を直接説明することもあります。電子データの新たな管理方法への移行等、当該作業が組織のためになることを理解していただき、実際に作業を完了できた際は、大きな達成感を感じています。

週末は、上司先輩方と飲みに行くことが多く、仕事は真面目に、遊びは楽しくというメリハリのある職場環境で働くことができます。また、休日は毎週ジムで汗を流し、友達とよく音楽イベントに参加しています。オフは楽しいこと、やりたいことを思いきりやることで、日々の仕事の励みにしています。



よしおか たかひと
(総務課 吉岡 嵩仁)

私は、平成30年4月1日付けで採用され、総務部会計課へ配属となりました。

地方防衛局の主な業務は、防衛施設の整備や管理及び地元との連絡調整等幅広い業務を行っており、その中でも私の業務は、職員の給与や出張旅費の支払いに関する業務を行っています。どちらも目立たない業務ではありますが、職員の生活に深く関わる重要な業務のため、責任感を持ち、積極的に日々取り組んでいます。特に、毎月の給与の支払を無事終えることができると達成感を感じることができ、次の給与もより適切に処理できるよう頑張ろうと気を引き締めることができます。

趣味は旅行です。職場の方から教えていただいた旅行先の名物を食べ、旅館でのんびり温泉に入ってリフレッシュしています。今後も仕事と趣味、どちらも両立できるようにこれからも頑張っていきます。



ふじい もも
(会計課 藤井 萌)

2020年度防衛省専門職員採用試験についての御案内

防衛省専門職員とは

防衛省専門職員は、高い語学力とグローバルな視野を活かして、日本の安全を支えるため、本省内部部局をはじめ、省内の各機関において様々な業務に従事しています。

試験日程

申 込 期 間	2020年4月1日(水)～4月17日(金)
第1次試験日	2020年6月7日(日)
第1次試験合格者発表日	2020年7月3日(金)
第2次試験日	2020年7月13日(月)～7月20日(月) のうちの指定する日
最終合格者発表日	2020年7月31日(金)

興味のある方は、防衛省HPに「採用パンフレット」や「受験案内」等が掲載されておりますので是非一度、ご覧になってみて下さい。

防衛省HP



採用情報



防衛省専門職

<https://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>

QRコードはこちらです ⇒



[information]

2020年5月5日に開催予定だった第44回海上自衛隊／米海兵隊岩国航空基地フレンドシップデー2020は、新型コロナウイルスによる感染症の対策として中止になりました。